

地方独立行政法人山口県産業技術センター評価委員会（第29回）の審議要旨

- 1 日 時 令和2年8月7日（金） 10:00～11:00
- 2 場 所 県庁 第2会議室
- 3 出席者 堤委員長、河村委員、木村委員、田中委員、中島委員
(委員長以外50音順)

《内 容》

I 報告事項

- 前回評価委員会（第28回）の審議要旨について
→ 資料1により、事務局から説明
《各委員了承》

II 審議事項

- 令和元年度における業務の実績に関する評価について
→ 資料2により、事務局から説明

《資料説明後、質疑応答・意見交換》 ●委員 ○センター

<職員数について>

- 職員の常勤・非常勤の比率を見直すということはあるのか。
- 運営費交付金により常勤職員の人数が固定されており、その人数は固定した上で、開放機器使用料等自己収入を確保しながら、その自己収入を基に、非常勤職員を確保している。
- 産業技術センターとして、固定されている常勤職員の人数を増やしてほしいということはあるか。
- 増えるに越したことはないが、今の経済状況を考えたときに、他県では常勤職員が減少傾向にある中、山口県は人数維持に努力してもらっており、非常に助かっている。

<コーディネータの活動について>

- 成長産業の育成において、コーディネータの活動の評価により明らかになった改善点等は、今後の活動にどのように反映させていくのか。
- 県の施策に呼応し業務を実施しており、県からのヒアリング時に、コーディネータの意見や要望を伝え、翌年度予算の反映により、体制や活動の強化につなげている。

<コロナ対策について>

- 現在、コロナの影響により、企業ではウェブ上での会議等が一般的になっているが、産業技術センターではどうか。

- コーディネータ活動や企業の面談は、可能な限りウェブで行っている。
- 今後も、企業訪問等が難しい状況が続くため、引き続き、リモートによるウェブ会議等、積極的に取り組んでいただきたい。

- 評価書素案に対して特段修正を求めず、「原案のとおりとすることが適当」として知事に意見書を提出することとする。
《各委員了承》